

《定例北海道函館方面公安委員会会議等概要》

令和7年11月5日（水）、次のとおり定例会議を開催した。

1 審議・報告内容

(1) 令和7年度警察と児童相談所との担当者ブロック会議等の実施結果

徳田生活安全課長から、令和7年度警察と児童相談所との担当者ブロック会議等の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「児相職員のストレスは相当なものだと思う。早い段階で警察が介入できるように、関係機関との情報共有を図っていただきたい。また、虐待は医療機関で発覚するケースも多いので、小児科医会等と連携した取組の推進にも配意願いたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「市町村職員も重要な役割を担っているが、警察と比較して、特化した訓練や経験は少なく、人材育成の面では課題があると感じている。在宅、一時保護の見極めや危険性の判断は大変難しいものなので、更なる連携の強化をお願いしたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「当方面では、関係機関がしっかりと連携しており、対応が問題視されるケースは発生していないと承知している。今後も、こうした訓練を通じて、関係機関との連携を密にし、万全な対応をお願いしたい。」旨の発言があった。

(2) 刑事関係主要事件発生・検挙状況①

小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況①について報告を受けた。

(3) 刑事関係主要事件発生・検挙状況②

小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況②について報告を受けた。

(4) 刑事関係主要事件発生・検挙状況③

小玉捜査課長から、刑事関係主要事件発生・検挙状況③について報告を受けた。

岡崎委員から「こうした事件を予防するためにも、自治体による空き家対策の更なる推進に期待したい。」旨の発言があった。

(5) 令和7年冬の交通安全運動の実施

河奥交通課長から、令和7年冬の交通安全運動の実施について報告を受けた。

中田委員から「これからの時期は、冬道を運転したことがない旅行者による交通事故も懸念されるので、レンタカー会社への働き掛けなどにより、冬型事故への注意喚起をお願いしたい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「交通事故を抑止するためには、パトカーによる見せる警戒が効果的だと思う。地道な活動ではあるが、頑張っていたきたい。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「交通安全運動期間中における各種取組は、交通部門に課せられた重要な業務なので、しっかりと進めていただきたい。」旨の発言があった。

(6) 函館方面警護訓練の実施結果

宮本警備課長から、函館方面警護訓練の実施結果について報告を受けた。

中田委員から「安倍元首相の悲慘な事件を機に、警備体制の見直しが図られてきたと思う。ドローンを活用した高所対策等、平面的ではなく立体的な警備や、ハイテク機器の導入など、警備の更なる高度化の推進にも期待したい。」旨の発言があった。

岡崎委員から「安倍元首相の事件以降、要人警護の重要性が広く認知されてきたと感じている。一般市民を味方につけ、より理解を深めてもらうためには、警察が日々訓練し、備えていることを発信していくことも大切だと思う。」旨の発言があった。

齋藤委員長から「警護を完遂するため、様々な訓練を行っていただいていることについて感心している。今後、機会があれば、訓練の様子を視察させていただきたい。」旨の発言があった。

2 決裁・報告内容

監察関係事案について報告を受けた。

以上